



## 「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

### 札幌市 地域ワークショップ 報告書

平成30年3月6日（火）に、スポーツ庁委託事業「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」札幌市地域ワークショップが開催されました。当日は、札幌市内の学校関係者約40名が出席し、下記の通り開催されました。

#### 【開催概要】

日時：2018（平成30）年3月6日（火）15時00分～16時50分

会場：WEST19 5階 講堂

参加者：約40名

プログラム：

15：00～ 開会

15：05～ 「オリンピック・パラリンピック教育推進事業」実践報告

① 上野幌小学校

② 福往小学校

15：30～ パラリンピック教育研修会 ボッチャ体験会

講師：北海道ボッチャ協会理事長 樋口 幸治 氏

16：15～ パラリンピック指導研修会

「I'm POSSIBLE」（国際パラリンピック委員会公認教材）や

「オリンピック・パラリンピックに関する指導参考資料」（スポーツ庁）の活用方法

講師：日本財団パラリンピックサポートセンター 山本 恵理 氏

16：50 閉会

「オリンピック・パラリンピック教育推進事業」実践報告では、上野幌小学校と福往小学校の先生方から、オリパラ教育の実践が報告されました。

上野幌小学校からは、1992年のオリンピックアルベール大会、1994年のリレハンメル大会に出場されたスピードスケートの宮部氏をお招きした、1月31日のスケート指導や、総合的な学習および道徳の時間におけるオリパラ教育の実践が紹介されました。オリンピックからの直接のスケート指導や、オリパラ教育で学んだことを保護者の前で発表する場面を設けた結果、実践後のアンケートにおける「オリンピックに関するイベントに参加してみたいか」という質問に対して、9割以上の子どもたちが「参加したい」と回答したとのことでした。児童のオリンピック意識の向上がみられ、非常に効果的な実践であったことがうかがえました。

福往小学校からは、1994年のオリンピックリレハンメル大会のノルディックコンバインドで団体金メダルを獲得された阿部氏をお招きした、2月16日のオリパラ教育の実践が報告されました。札幌オリンピックミュージアムで行われたこの実践では、スキージャンプのシミュレーターで多くの児童が阿部氏からの直接指導を受け、オリンピックの偉大さを身近で感じる事ができたとのことでした。その他にも、体育の授業で模擬オリンピックを開催し、全員が楽しめるルールを児童自身が考えたり、入賞者には自分たちで作ったメダルや賞状を授与したりするなど、共生や多様性を認め合う学習が展開されたことが報告されました。

実践報告の後は、パラリンピック教育研修会へと移りました。北海道ボッチャ協会理事長である樋口氏らが中心となって、ボッチャ競技についての説明があり、その後、ご参加された先生方はチームを編成し、実際にボッチャを体験されました。馴染みの薄い競技であったために、最初のうちは「難しい」という声が上がっていましたが、ゲームを繰り返すうちに、次第にチームで作戦を考えるようになり、より多くの得点を獲得するための投げ方について話し合う場面も見られるようになりました。難しい局面をうまく切り抜けることができた際には、大きな歓声が上がっていました。

最後に、日本財団パラリンピックサポートセンターの山本氏より、国際パラリンピック委員会が制作した教材についての紹介がありました。特に、小学校高学年を対象としたVTR教材の「I'm POSSIBLE」の活用方法について、研修会にご参加された先生方は大変興味深くお話を聞かれていました。



オリパラ事業推進校による実践報告の様子



ボッチャ体験会の様子



ボッチャ体験会の様子

「I'm POSSIBLE」の活用方法についての説明